

2025 年 11 月 5 日

報道関係者各位

ニプロ株式会社

日医工株式会社

ニプロ株式会社と日医工、注射薬の安定供給に向けた協業に合意 注射用抗菌薬の製造所を集約

ニプロ株式会社（本社：大阪府摂津市、代表取締役社長：山崎 剛司、以下「ニプロ」）と日医工株式会社（本社：富山県富山市、代表取締役社長：岩本 紳吾、以下「日医工」）は、注射用抗菌薬の後発医薬品の安定供給に向けた協業に合意いたしましたことをお知らせいたします。

■協業の背景

近年、新型コロナウイルス感染症のようなパンデミックを経験し、国民の生命と健康を守る上で、特に抗菌薬の安定供給は喫緊かつ最優先の課題として認識されています。抗菌薬は、重篤な感染症の治療や術後感染予防など、患者の生命に直結する場面で使用されるため、治療において欠かすことのできない存在で、特に後発医薬品は抗菌薬の供給を支える重要な役割を担っています。しかし、2020 年以降、品質問題に端を発する供給停止や出荷調整が頻発し、後発医薬品全体の安定供給も大きな課題となっています。

厚生労働省は、こうした状況に対し、後発医薬品企業の連携を促し、製造所集約を円滑化するための薬事手続きを迅速化する特例措置「医療用医薬品の品目統合等に伴う製造方法等の変更手続きに係る手続きの迅速化について」を設けました（標準処理期間を 6 ヶ月から 1.5 ヶ月に短縮）。両社は、本施策を活用し、後発医薬品である注射用抗菌薬の製造所集約を進め、生産効率を高めるとともに、感染症対応を含めた抗菌薬の安定供給体制の構築に取り組んでまいります。

■協業の概要

- ・ 協議中の対象品目数：注射用抗菌薬 3 成分 8 品目（2025 年 11 月現在の計画）
 - それぞれで製造していた品目を一方の製造所に集約する
- ・ 開始時期：2026 年以降、準備が整い次第順次

■ニプロ 代表取締役社長 山崎 剛司 コメント

医療を取り巻く環境が目まぐるしく変化する現代において、ニプログループは、医薬品の安定供給を社会的責任と位置付けております。特に基礎的医薬品である注射用抗菌薬の供給強化は、人々の健康を支える医療体制の構築に不可欠です。

今回の協業は、注射用抗菌薬の供給不安の早期解決に大きく寄与すると考えており、両社の強みを活かし、ユーザー目線に立脚した医療の“インフラ”としての役割を果たしてまいります。

■日医工 代表取締役社長 岩本 紳吾 コメント

当社は2023年3月より新経営体制のもと、医薬品の安定供給のため生産体制と品質保証体制の強化に取り組んでまいりました。その中でも注射用抗菌薬は、感染症治療や術後感染予防など幅広く使用され、医療の現場において重要な役割を果たしており、その安定供給は医薬品企業の使命であると自覚しております。

このたびのニプロ様との協業により、注射用抗菌薬において持続可能な安定供給体制を構築し、抗菌薬という重要な領域の医薬品の安定供給を通して人々の健康と幸せに貢献してまいります。

ニプロと日医工は、今後も引き続き健全な競争を維持しながら、本協業を通して連携を図り、注射薬をはじめとする後発医薬品の安定供給の実現に貢献してまいります。

ニプロについて

ニプロ株式会社は、1954年の設立以来、社是である「意欲」を原動力に、医療機器、医薬品、ファーマパッケージングなどの医療分野において幅広く事業を展開し、世界中の患者さんや医療従事者の皆さんのニーズに応える商品・サービスを提供し続けています。

「和ごころをもった真のグローバル総合医療メーカー」を目指し、これまで育んできた各事業領域の深化・価値向上を行いつつ、日本の医療現場で培われた最先端の医療技術や、バスキュラー事業・再生医療事業など革新的な技術を駆使した商品・サービスを世界に展開することで医療のニューノーマルを創造し、医療の未来を切り拓いてまいります。詳細については、<https://www.nipro.co.jp/> をご覧ください。

日医工について

日医工株式会社は、1965年に富山県で創業し、「SUPPORTING YOUR LIFE」をミッションに掲げる生命関連企業です。医薬品の安定供給と品質保証を通じて、人々の健康と幸

せを支えることを目指しています。多様な価値観を受け入れ、社内外の連携を推進しながら、新たな課題に挑戦し、すべての人々の健康で幸せな生活に貢献してまいります。詳細については、<https://www.nichiiko.co.jp>をご覧ください。

◆報道関係者様お問い合わせ先◆

ニプロ株式会社
コーポレートコミュニケーション部
PR 室
TEL: 06-6310-6650

日医工株式会社
広報室
TEL: 076-442-7026